

日付	学科	学年	番号	名前
/				

第1章 3 「条件つき確率と乗法定理」 第1回

1. 袋の中に1から6の番号が1つずつ書かれた赤玉が6個, 1から4までの番号が1つずつ書かれた白玉が4個入っている. 袋の中から1個の玉を取り出すとき, その玉が赤玉である事象を A , 玉に書かれた番号が偶数である事象を B とする. このとき次の確率を求めよ.

(1) $P_A(B)$ (2) $P_{\bar{A}}(B)$ (3) $P_A(\bar{B})$

2. 10本のくじの中に当たりくじが4本あり, もとに戻さずに1本ずつくじを2本引く. 1本目のくじが当たりくじである事象を A , 2本目のくじが当たりくじである事象を B とする. このとき次の確率を求めよ.

(1) $P(A)$ (2) $P_A(B)$ (3) $P(A \cap B)$

3. 1から16までの番号をつけた16枚のカードから1枚を抜く. 2の倍数のカードを抜く事象を A , 3の倍数を抜く事象を B とするとき, 次の確率を求めよ.

(1) $P(A)$ (2) $P_A(B)$ (3) $P(A \cap B)$

4. 赤玉7個, 白玉3個が入った袋から戻さずに1個ずつ3個の玉を取り出すとき, 次の確率を求めよ.

(1) 1個目が赤玉, 2個目も赤玉, 3個目が白玉である確率

(2) 1個目が白玉, 2個目は赤玉, 3個目が白玉である確率